

ひぐだみ

No.194
2023年9月



県立長崎図書館郷土資料センター 企画展示

郷土資料センターの閲覧室では、年に4回、県内各市町の図書館の協力を得ながら、該当市町ゆかりの郷土資料の展示や原爆・平和教育関連の資料の展示を行っています。ぜひお越しください。



- ◎電子書籍サービス・ミライオン図書館アプリの紹介…P2
- ◎資料紹介 AI(人工知能)関連の本……………P3
- ◎郷土資料センター講座・展示の紹介……………P4

- ◎ミライオン図書館講座・イベントの紹介…P5
- ◎ミライオン図書館職員がすすめる本 ……P6



紹介 電子書籍サービス



詳しくはこちら



利用できる人

県内在住でミライオン図書館・郷土資料センターの利用登録をしている方

※図書館窓口または下ページのアプリで利用登録ができます。

提供できる電子書籍

紀伊國屋書店の電子書籍閲覧サービス「KinoDen」の提供コンテンツから、図書館で選定した書籍を読むことができます。

約2,200冊（令和5年7月現在）

注意点

- ・他の人が閲覧中の書籍は同時に閲覧できません。
- ・サービスの利用は無料ですが、インターネット通信料は利用者の負担となります。

紹介 ミライオン図書館アプリ

便利な機能

- マイナンバーカードによる利用登録**
来館することなく、お持ちのスマートフォンで、利用登録ができます。
- 利用者番号バーコード表示**
スマートフォン上にバーコードを表示し、利用カードとして利用できます。
- 「マイ図書館」に自動ログイン**
ミライオン図書館のマイ図書館に自動ログインし、本の検索・予約ができます。
- 予約割当通知**
予約していた本の準備ができた際に、アプリで通知を受け取れます。

注意点

15歳未満、県外在住の方はマイナンバーカードでの利用登録ができません。図書館窓口で利用登録の手続きを行うと、アプリも利用できます。



詳しくはこちら



AI(人工知能) 関連の本

資料紹介



近年目覚ましい発展を遂げているAI(人工知能)。物流、製造、農業など様々な分野で利用が進んでいます。今年3月には人間のような自然な会話ができるAIチャットサービスがリリースされ、2023年は「AI元年」になるとも言われています。一方で、AIとは何なのかいまひとつよく分からない方や、「AIに仕事を奪われるのではないか」と考えている方も多いのではないのでしょうか。

今回はミライオン図書館が所蔵するAIに関する図書をご紹介します。

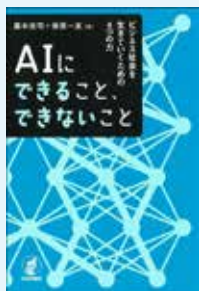


(2018年2月刊)

「AI vs.教科書が読めない子どもたち」

新井 紀子／著
東洋経済新報社

現代の教育とAIの関係を探り、教科書が苦手な子どもたちへの対応策を提案しています。教育者や保護者、教育に関心のある方におすすめの1冊です。



(2019年2月刊)

「AIにできること、できないこと」

藤本 浩司／著
柴原 一友／著
日本評論社

AIの本質の理解からビジネスへの活用に至るまで、具体的な事例を交えつつ解説している入門書です。AIに対して漠然と抱いている不安が解消されるのではないのでしょうか。



(2018年6月刊)

「人工知能と友だちになれる?」

新井 紀子／監修
誠文堂新光社

カラフルなイラストと軽妙なストーリーでAIの世界を楽しく解説する児童書です。AIの基本から実際の応用までをわかりやすく描き、身近な存在としてのAIと未来を伝えます。



(2023年5月刊)

「画像生成AIがよくわかる本」

田中 秀弥／著
秀和システム

画像生成AIの歴史や仕組み、著作権、サービス等、この本で基本を抑えることができます。「興味はあるけれど難しそうでよくわからない!」という方の初めての1冊に。



(2023年4月刊)

「ChatGPT」

古川 渉一／著
インプレス

世界中で注目を浴び登録者数を増やした対話型AI「ChatGPT」に関する入門書。活用事例やこういった姿勢で使用すべきかという指針的な内容の本です。



(2022年10月刊)

「AIとオープンソースで真價を見る目を養う」

武藤 佳恭／著
谷口 敬太／著
春秋社

本県出身の工学博士によるモノづくりの記録と「真價を見抜く目」を養うための本。技術者としての発想力・着眼点に刺激を受けられそうな1冊です。

ちなみに...

こちらの3冊は紙の本だけでなく、電子書籍でも読むことができます! 興味がわいた方は利用登録のうえ、お手持ちのスマートフォンやタブレットでぜひ電子書籍をご利用ください。

詳しくはこちら



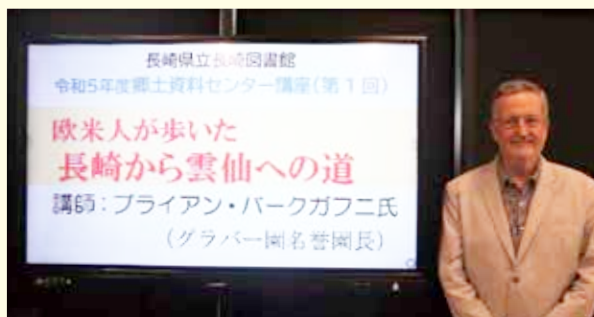
マイ図書館からアクセス!



県立長崎図書館郷土資料センター 展示関連企画として講座を開催しました

ブライアン・バークガフニ氏講演会

令和5年6月18日（日）に、郷土資料センター企画展示『昭和ロマンの旅 昭和初期観光パンフレット -旧雲仙公園事務所資料に見る-』展の関連企画として、グラバー園名誉園長であるブライアン・バークガフニ氏を迎えて、講演会を実施しました。



演題は、ブライアン・バークガフニ氏の著書でもある『欧米人が歩いた長崎から雲仙への道』であり、受講された約100名の方はとても興味深く聴講していました。また、当日は初の試みとしてミライo n図書館をサテライト会場として同時中継配信も行いました。

企画展とあわせて、明治期以降国際的な観光地として賑わった雲仙の様子がよくわかる講演会となりました。

郷土資料センター実施講座及び展示予定

子ども向け講座

「私のオリジナル絵本を作ろう」

郷土資料センターでは、本の仕組みを学びながら、自分だけのオリジナル絵本を作る子ども向け講座を7月30日（日）・8月20日（日）に開催しました。

小学1年生から6年生を対象とし、両日あわせて約30名の子どもたちの参加がありました。

少し難しかったという感想もありましたが、自分で描いたイラストやストーリーを楽しみながら本物の絵本に仕上げることが出来ました。



郷土資料センターの展示スペースでは、県内各市町の図書館と連携して、市町の郷土資料、ゆかりの文学の展示を行っています。今年度は諫早市と五島列島に関する展示を行います。詳しくはホームページ等でお知らせいたしますので、ぜひご来館ください。

講座・イベントの紹介

電子書籍サービス体験会

7月8日(土)と8月20日(日)に「電子書籍サービス体験会」を開催しました。多くの方にご参加いただき、ミライオン図書館の電子書籍やミライオン図書館アプリを実際に体験していただきました。

ミライオン図書館アプリを利用することで、いつでも、どこでもミライオン図書館の電子書籍を読むことができます。特に、ミライオン図書館へ来館するのが難しい方にとってとても便利です。離島・半島にお住まいの方、仕事や育児、介護等で来館できない方など、非来館で本が読めます。体験した方もしていない方もどうぞご利用ください。



バックヤードツアー

7月30日(日)に「バックヤードツアー(小学生対象)」を開催しました。今回は、募集人数を昨年度から大幅に増やして実施しました。

当日はミライオン図書館の紹介ビデオ視聴や図書館職員からの説明後、2グループに分かれてバックヤードを案内しました。書庫をはじめ、発送室や製本室等、初めて見る図書館の舞台裏は、小学生のみなさんはもちろん同伴した保護者のみなさんにとっても興味津々だったようです。夏休みの良い思い出になったと喜んでいただきました。



予告 10~12月実施

シニア世代のスマホ講座

- ・日時 10月29日(日) 14:00~16:00
- ・場所 ミライオン図書館 多目的ホール
- ・講師 清水 恵三氏
- ・対象 おおむね55歳以上の方
- ・定員 15名(事前申込必要・先着順)
- ・ながさき生涯現役応援センターとの共催

投資初心者でも大丈夫! 「子育て世代向け資産形成セミナー」

- ・日時 11月12日(日) 14:00~15:30
- ・場所 ミライオン図書館 多目的ホール
- ・講師 金融広報アドバイザー 長崎財務事務所職員
- ・対象 主に20~40代
- ・定員 30名程度(事前申込必要・先着順)
- ・長崎財務事務所との共催

依存症セミナー

- ・日時 11月19日(日) 13:30~16:00
- ・場所 ミライオン図書館 多目的ホール
- ・講師 有識者 依存症回復者 他
- ・対象 一般住民 支援関係者 等
- ・定員 50名(原則事前申込必要・当日参加も可能)
- ・県央保健所との共催

いちごのヒミツを解き明かそう

- ・日時 12月16日(土) 11:00~16:00
- ・場所 ミライオン図書館 多目的ホール、ギャラリー
- ・内容 ①講演会
11:00~14:00~2回実施 各回50名まで
講師 農林技術開発センター職員
- ②いちご品種の展示
- ③いちご謎解きクイズ
- ④いちごに関する図書の展示・貸出
- ・県農林技術開発センターとの共催

まちの保健室

偶数月の土曜午前実施 県看護協会との共催

就職支援・個別相談会

毎週水曜日(祝日・ミライオン休館日を除く)実施
長崎県人材活躍支援センター/フレッシュワーク大村との共催

出張相談会(経営相談)

毎月1回金曜日実施
長崎県よろず支援拠点との共催

ミライon図書館職員がすすめる本

ミライon図書館では、「ととってmotto!」や「FMおおむら」でおすすめの本を紹介しています。

長崎

「博物館の少女 怪異研究事始め」

富安陽子/著

大阪の古物商の娘として生まれたイカルは両親を失くしたことで、東京に住む親戚に引き取られる。

上野の博物館で古蔵の整理をすることになったイカルは、「黒手匣」がないことに気づく。

長崎の離島から持ち帰られ、隠れキリシタンゆかりの品とも言われるこの匣の秘密とは…。



出版社:偕成社

猫の日

「よくばり すぎたねこ」

さとうわきこ/作・絵

2月22日は猫の日です。今回は『よくばりすぎたねこ』という絵本をご紹介します。

ある日、ひよこを見つけたねこは、餌をまいておびきよせな。出版社:PHP研究所
「つかまえたら、まるやきにしていたべよう。」と考えます。ねこはもっと考えて、ひよこが成長してから食べることを、さらに、たまごを産むまで待つ卵焼きと鳥の丸焼きの両方食べることを思いつきます。「いや、まてよ」と、もっとも考えたねこは、ある素晴らしいアイデアを思いつき、ひよこを育て始めましたが…。ごちそうを思い浮かべる猫の表情は「うへへ」と笑う声が聞こえてきそうです。くいしんぼう猫の豊かな想像力とクスッと笑える思いもよらないイラストをお楽しみください。



あたたまる本

「星くずクライミング」

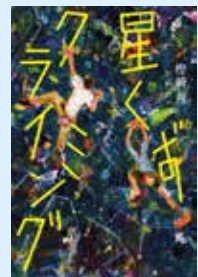
櫻崎茜/作 杉山巧/画

あかりは、スランプ中のスポーツクライミング選手。ある日、目の不自由な人のスポーツクライミングである、パラクライミングの世界を知ります。

あかりは、ナビゲーターとして競技に参加することになって…。

新たな環境で少女が成長していく物語。

読んだ後心が温まる一冊です。



出版社:くもん出版

秋の夜長

「ぼく、お月さまとはなしたよ」

フランク・アッシュ/え とぶん 山口文生/やく

季節はすっかり秋になり、空気が澄んで、お月見や紅葉を楽しむ時期となりましたね。今回は、秋の夜長にぴったりな絵本「ぼく、お月さまとはなしたよ」を紹介しします。ある夜のことで、クマくんは空のお月さまを見上げて、お月さまにお誕生日の贈り物をあげたいと思います。お月さまに話しかけても返事がないので、クマくんは川を渡り、森を抜け、山に登って叫んでみました。「こんばんは!」すると、「こんばんは!」。「たんじょう日、いつですか?」すると、「たんじょう日、いつですか?」…。お月さまはクマくんが言ったとおりに答えます。

お月さまのお返事が「やまびこ」だと気づかず、楽しくお月さまとお話を続けるクマくんの純粋で一生懸命な姿に心をつかまれる一冊です。

ぜひ秋の夜長に親子でほっこりした気持ちになってください。



出版社:評論社

自分らしく生きる

「カミングアウト・レターズ 子どもと親、 生徒と教師の往復書簡」

RYOJI/編

ゲイ/レズビアンの子とその親、生徒と教師の往復書簡です。

性的マイノリティのため深い孤独と苦悩を抱えていた彼/彼女たちが、なぜ話すことを選び、どう受け止められたのか。LGBTはおよそ10人に1人と言われています。自分には関係ないと思っている人にこそ読んで欲しい1冊です。



出版社:太郎次郎エディタス

編集・発行 長崎県立長崎図書館

長崎県大村市東本町 481 番地 ISSN 1344-5235
長崎県長崎市立山 1 丁目 1 番 51 号